

特集

笑顔あふれるまちへ ～子育てサポートしています～



7月に行われた育児教室に参加された親子の皆さんです。対象の方はぜひご参加ください。

～ママたちへ～

子どもを育てることは、楽しいこと・嬉しいことばかりじゃない。
子育てをされていて、涙目で天井を見上げたこと、つらい思いを伝えたくても家には我が子と私だけ…
そんな孤独と閉塞感を感じたことはありませんか。

～パパたちへ～

「イクメン」という言葉が生まれた背景には、男性がこれまで十分に子育てに参加していなかったことの裏返しでもあります。
ママがパパに求めることは人それぞれ。思いを感じ取り自然体で支えになれるような、すてきなパパになりませんか？

子育ての悩みを相談したり打ち明けたりできる仲間がいる。地域の方たちの温かい見守りがある。
身近な家族と一緒に悩み寄り添って歩んでくれる。
子育てをする人たちが笑顔でいられる時間を増やすことが、幸せな子育てにつながるのではないのでしょうか。
今号では、行政や地域、児童施設などの関係機関が連携し、
まち全体で支え合い、子育てしやすい環境をつくる取り組みについてご紹介します。

まずは 矢板の現状を知ろう！

統計でみる 矢板の現状

子どもの数が減っています！

少子化は全国的な傾向であり、各地でこの進行を緩やかにする取り組みが行われています。本市ではこの傾向が全国平均よりも進行している状況であり、

近年の統計を見ても、子どもの数は5年間で、約1割も減少しています。

【4月1日時点の0～4歳の子ども的人数】



アンケートでみる 矢板の現状

理想と現実ギャップあり！

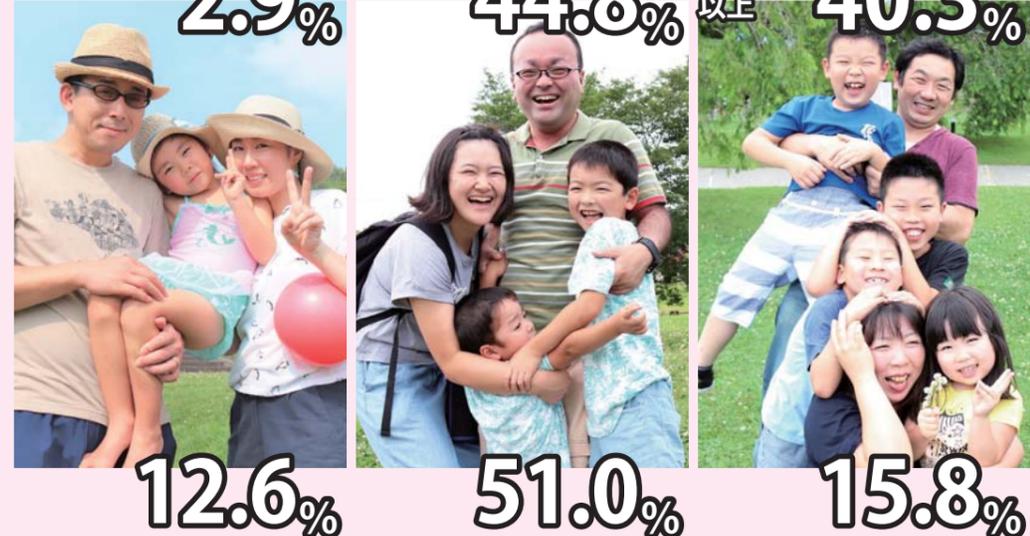
平成27年に実施したアンケートでは、理想の子どもの人数は平均2.47人、実際の子どもの予定人数は2.07人という結果になり、理想と現実で大きな開き

があることが分かりました。このギャップを埋めることが、少子化に歯止めをかけることにつながります。

理想の子ども的人数



実際の子ども的人数



理由を教えてください！



【理想の人数の子どもを持たない理由】

- 理由その1 29.5% 子育てにかかる経済的負担が大きい！
- 理由その2 16.9% 子育ての心理的・肉体的負担が大きい！
- 理由その3 15.1% 子育てと仕事の両立が難しい！

期待しています！



【子育て支援で充実してほしいこと】

- 希望その1 71.2% 子どもと出かけやすく、楽しめる場所！
- 希望その2 57.9% 安心して医療機関にかかることができる体制！
- 希望その3 35.1% 子育てする人が働きやすい職場環境！
- 希望その4 30.1% 親子が安心して集まれる身近な場所やイベント！

アンケートでみる 矢板の課題

産み育てやすい環境を整えること！

アンケート結果から、安心して子どもを産み育てることのできる仕組みづくりが求められていることが分かります。

行政や地域、児童施設などの関係機関が連携し、まち全体で子育てを支え合えるような仕組みづくりをする必要があります。

また、生活スタイルや女性の働き方への意識が多様化していることから、子育てと仕事が両立できるような環境づくりも合わせて進める必要があります。

行政の取り組みのほか、次ページでは、地域や児童施設などで行っている子育て支援の取り組みについてご紹介します。

行政の支援

妊娠から子育てまで、全力でサポートします！

【妊娠】

●妊婦健診助成

妊娠がわかってから出産までは約10カ月。妊婦さんが安心して出産を迎えるために、母体や赤ちゃんの健康状態を定期的に確認できるように、妊婦健診の受診費用95,000円（健診14回分）を助成します。

【出産】

●やいたみらいっ子誕生祝金

次代を担う子どもの誕生を祝い、第2子以降のお子さんが生まれたときに、30,000円を贈ります。

【子育て】

●こんにちは赤ちゃん・乳幼児健康相談

生後4カ月を迎えるまでに、乳児のいるすべての家庭を訪問し、さまざまな不安や悩みを聞くとともに、子育てに必要な情報を提供するなどの支援を行います。

また、定期的な乳幼児健診や健康・育児相談で面談を行い、お子さんの健やかな成長をサポートします。

●「えほんるっく」と「セカンドブック」

「えほんるっく」は、赤ちゃんのことばと心を育むため、10カ月健診のときに、絵本をプレゼントします。

「セカンドブック」は、家庭での子どもの読書活動をさらに広げてもらうため、2歳の誕生日を迎えたお子さんに図書館から絵本をプレゼントします。

【妊娠～子育て】

●子育て世代包括支援センター

国の調査では、約7割の方が、子育てに何らかの不安や負担を感じながら生活しています。妊娠・出産・子育て期のさまざまな不安や疑問、相談に対応して、1人ひとりに寄り添った、切れ目のない支援を行います。

また、安心して妊娠・出産・子育てができる地域づくりを進め、子育て世代の皆さんを総合的にサポートします。

1人で悩まず、どんなことでも安心してご相談ください。



支援の拠点

子育てサロン・子育て支援センター

子育てを支援する取り組みの1つとして、保育園や認定こども園では、子育て家庭に対する支援を行っています。

子育てサロンなどは、子育てに関する講座の開催や子育てに対する悩みや不安などを相談できるほか、子育て中の親子の仲間づくりを目的に各園で開設しています。

子育て中の親子が集まれる憩いの場(子育てサロン)

子育てをしている保護者やそのお子さんが自由に集まって過ごすことのできる場所です。

お子さんを遊ばせながら、仲間づくりや情報交換などを行うことができる憩いの場です。

●保護者の交流

同世代のお子さんをもつ保護者が集まるので、保護者同士で子育ての悩みを相談し合ったり、育児情報を交換したりと、仲間づくりのきっかけになります。

●育児相談

各園で、子育て家庭に対する育児支援を行います。お子さんと保護者の交流の場なので、家庭で育児に悩み、不安に思っている方はぜひ遊びにきてください。

●四季を通じた季節感のあるイベント

夏の季節は、流しそうめんや大きなプールでの水遊び、秋はりんご狩りや新米を使ったおむすび作りなど、季節を感じることができるイベントを行っています。

市内の各園で開いている親子で楽しめるイベントは、広報やいた「子育てコーナー」でお知らせしています。

* 8月のイベント情報は、広報7月号に掲載しています。



◀ 親子と一緒に体操



未就園児を対象にした流しそうめん体験 ▶

支援の拠点

児童館・学童保育施設

児童館

児童館は、矢板児童館・矢板東児童館・かたおか児童館の3カ所があり、地域の健全な児童育成や情操を豊かにすることを目的に、各種行事を行っています。

18歳未満のすべての児童が利用できるほか、児童に関する集会などでも利用することができます。

学童保育館

学童保育館は、児童の健全育成を図ることを目的に、母子・父子家庭、共働き家庭などの児童を対象に、下校した後、保護者が仕事から帰るまでの間、お子さんをお預かりする施設です。市内には、矢板小・東小・川崎小・泉小・安沢小の近隣に設置しているほか、民間の学童保育施設があります。※利用するためには、利用申請の手続きが必要です。



矢板東児童館で行われた富田シニアクラブの方たちとの交流会の様子
申込・問い合わせ/社会福祉協議会 ☎(44)3000



矢板東児童館主任喜佐見さん

安心できる第2の我が家

次代を担う子どもたちが、健康で創造力豊かに成長できるよう、安全で安心して遊ぶことができる場所としてつくられたのが児童館です。

子ども会育成会や母親クラブ、シニアクラブなど地域の方たちとの連携を図りながら、いろいろなイベントも定期的に開くなど、楽しく遊べる環境づくりを心掛けています。子どもたちにとって、我が家のような居心地のよい居場所であってほしいと願っています。

地域みんなで支え合いながら 子育てをサポートしています!

地域の支え

ファミリーサポートセンター

子育て中のパパ・ママを地域で支援しよう

急に仕事が忙しくなって子どもを迎えに行けない、上の子の行事の時間だけ下の子を預かってくれないかな…など保護者の「困った」ことにファミリーサポートセンターが対応します。

ファミリーサポートセンターは、子育ての支援をしてほしい人(依頼会員)と、手助けをしたい人(提供会員)がそれぞれ会員となり、お互いに助け合いながら、地域で子育ての支援をしていこうとするものです。



※支援活動は会員登録の有償のボランティアです。支援に応じて時間当たりの報酬を提供会員に支払います。

申込・問い合わせ/社会福祉協議会 ☎(44)3000

●尾身さん親子(依頼会員)

仕事の関係で遅くなるときに、子どもの保育園にお迎えをお願いしています。この制度があるので、安心して仕事に集中することができますので助かっています。



●樋口さんご夫妻(提供会員)

私たちが子育てをしていた時も、当たり前のように地域の人々で見守ってくれていました。この制度は、今の時代に合った助け合いの仕組みではないかと思えます。



身近な存在

1番近くのママの理解者 イクメンを目指そう!!

パパとじいじの育児教室



育児に不安を感じているのは、パパもママも一緒。ママを思いやる気持ちが立派なイクメンへの第一歩です!!

日時・内容/全3回 18:30～20:00

	日にち	内容
①	11月1日(木)	「子育ての今と昔」+実技・相談
②	11月29日(木)	「離乳食のこと」+実技・相談
③	12月13日(木)	「保育園のこと」+実技・相談

場所/保健福祉センター

対象/育児をしている、予定があるなど、育児に興味のある男性
定員/15人 *先着順

参加費/無料

申込方法/10月17日(水)までに、電話でお申し込みください。

申込・問い合わせ/子ども課 ☎(44)3600

～子育て中のママに聞きました～

健診や子育てサロンなどに来ていた37人のママに、ここだけのホンネを聞いてみました。父親として、ちょっと耳の痛いことを言われてしまいましたが、しっかりと受け止めなければいけませんね…

Q:「イクメン」ってどんなイメージ?

- No.1 掃除や料理など家事をしてくれる! 64.9%
- No.2 こどもをお風呂に入れてくれる! 59.5%
- No.3 感謝の気持ちを言葉で伝えてくれる! 54.1%
- No.4 1人の時間をつくってくれる! 54.1%

Q:子育てで直接言えないパパの不満は?

- No.1 家事を手伝ってくれるのはありがたいけど、最後までちゃんとやってね! 54.1%
- No.2 ウンチのオムツも替えてほしい! 24.3%
- No.3 子育ての悩み、ちゃんと聞いて! 18.9%
- 番外 理想のパパ♡不満はありません! 16.2%



笑顔あふれるまちへ

地域みんなで支え合い
子どもたちが幸せを感じて育つ
そんな笑顔あふれるまちにしていきたいませんか。

